

思いを繋いで
第21回

結ぶ、
つながる、
紡いでいく。

ひろしま「山の日」県民の集いの記録

2023年6月4日(日) 開催
ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会/中国新聞社/中国放送

はじめに

広島は里山の邦と言ってもいいでしょう。 広島の里山は、里、川、まち、そして海ともつながり、多くの恵みをもたらし、命を育んでいます。

人と里山、人と山、里とまち、企業と地域・・・ 安芸郡4町(坂町)をメイン会場に広島県内15の市町16会場を結んで、第21回ひろしま「山の日」県民の集いを開催いたしました。

これは、その記録です。

●第21回ひろしま「山の日」県民の集い 「山の日」宣言

広島県の面積のおよそ7割は山です。全国に誇る里山があります。山から湧き出る水は命の源であり、その水が里の稲や野菜を育てています。

山を被う緑の木や草は、新鮮な空気をつくりだしています。

広島の豊かな山で生まれた水は豊かな川となり瀬戸内海や日本海へ注ぎ、魚や貝を育んでいます。

私たちは、6月の第一日曜日をひろしま「山の日」とし
ひろしま「山の日」県民の集いを県内各地で開催し
山の大切さを訴えています。

ひろしまの里山から、山の大切さを理解し行動する人の輪を拡げ、
山がよくなる運動にしていくことを宣言します。

2023年6月4日

ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
会長 前垣壽男

目 次

1	事業のアウトライン	3
2	各会場の記録	
①	坂町会場: ベイサイドビーチ坂	4
②	府中町会場: 水分峡森林公園	12
③	海田町会場: 海田総合公園	13
④	熊野町会場: ゆるぎ観音周辺	15
⑤	東広島市会場: 東広島市憩いの森公園	16
⑥	廿日市市会場: 県立もみのき森林公園	20
⑦	広島市会場: ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)	22
⑧	広島市会場: ひろしま遊学の森(広島市森林公園)	23
⑨	三原市会場: 高坂自然休養村管理センター	25
⑩	福山市会場: ふくやまふれ愛ランド	26
⑪	北広島町会場: 芸北 高原の自然館	27
⑫	三次市会場: 酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう	29
⑬	呉市会場: 野呂山(野呂高原ロッジ周辺)	32
⑭	大竹市会場: マロンの里交流館	33
⑮	世羅町会場: せら夢公園 せらワイナリー	35
⑯	神石高原町会場: 帝釈峡神龍湖	38
3	実行委員	39
4	ひろしま「山の日」県民の集いの歩み	41

1. 事業のアウトライン

1 目 的	森林ボランティアや民間が中心となり展開してきた、ひろしま「山の日」県民の集いも 21 回目となる。目標の一つとしてきた、「山の日」が平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日になり実現した。SDG's に掲げられている 17 の目標の中で 14「海の豊かさを守ろう」、15「陸の豊かさを守ろう」の 2 つの目標については、私たちの活動そのものです。里山には、SDG's の身近な教材や資源が豊富であり、活動を通じて参加者一人一人にとって SDG's がより身近なものになる森づくり運動として、多くの県民が、この日に、身近な山へ入るきっかけをつくることを目的にする
2 日 時	2023 年 6 月 4 日(日) 集いの行事
3 場 所	広島県内 15 市町 16 会場 安芸郡 4 町・メイン会場: 坂町(バイサイトビーチ坂)、サブ会場: 府中町(水分峡森林公園)、海田町(海田総合公園)、熊野町(ゆるぎ観音周辺) 東広島市会場(東広島市憩いの森公園)、廿日市市会場(県立もみのき森林公園)、広島市会場(ひろしま遊学の森: 広島県緑化センターと広島市森林公園)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)、三次市会場(酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう)、呉市会場(野呂山)、三原市(高坂自然休養村管理センター)、北広島町会場(高原の自然館)、大竹市会場(マロンの里交流館)、世羅町(せら夢公園せらワイナリー)、神石高原町会場(帝釈峡神龍湖)
4 総参加者	7,511 人 (山の手入れ等参加者 576 人)
5 主 催	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
6 特別協力	ひろしまの森林づくりフォーラム
7 後 援	林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、東広島市、広島市、廿日市市、呉市、三原市、福山市、三次市、尾道市、大竹市、北広島町、世羅町、神石高原町、坂町、府中町、海田町、熊野町、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟、(公社)日本山岳会広島支部、(一財)全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島
8 協 賛	西条・山と水の環境機構、(株)ウッドワン、中国木材(株)、マツダ(株)、広島県森林組合連合会、山陽乳業(株)、大和重工(株)、光和物産(株)、JA グループ広島、(株)タカキベーカリー、神沢精工(株)、クニヒロ(株)、山陽工業(株)、日の丸産業(株)、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、福山商工会議所、尾道商工会議所、広島市漁業協同組合、(株)広島バスセンター、みずえ緑地(株)、広島県環境保健協会
9 助 成	ひろしまの森づくり事業(交付金事業) 「緑の募金」助成事業

2. 各会場の記録 ①坂町会場 ベイサイドビーチ坂

全体

■参加人数：1,600人

＜プログラムの状況＞

第21回ひろしま「山の日」県民の集いが坂町をメイン会場とし、府中町、海田町、熊野町をサブ会場として、県内15市町16ヵ所で開催されました。メイン会場である坂町会場では、ベイサイドビーチ坂において開催され、天候にも恵まれ爽やかな海風の中多くの来場者で賑わいました。

開会式では前垣会長のあいさつ、来賓からのご祝辞、山の日宣言、梅の木の植樹が行われました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲ひろしま「山の日」県民の集い安芸郡4町実行委員会
齋藤哲也副実行委員長 開会宣言



▲ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
前垣壽男会長 開会の挨拶



▲吉田隆行町長 歓迎の挨拶



▲坂町立坂小学校5年則川結音

坂町立横浜小学校3年石田佳大 ひろしま「山の日」宣言

記念植樹

■参加人数：7人

＜プログラムの状況＞

令和5年6月4日（日）に、メイン会場の開会式典において、来賓、主催者で梅の木2本の記念植樹を行いました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲記念植樹の様子



▲記念撮影

「木」をカラダでいっぱい 感じてあそぼう！

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

かんなくずのプールで遊んだり、木のおもちゃを作ったり、木のおもちゃを販売しました。子どもたちは、木のぬくもり、色合い、香りを感じながら、楽しく木の良さを体感していました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲かんなくずのプールで遊ぶ子どもたちの様子



▲木のおもちゃを作る子どもの様子

カヤック体験

■参加人数：24人

＜プログラムの状況＞

初めての方でも気軽に参加できるカヤック体験を開催しました。カヤックに乗って水の上を進む楽しさを体感するとともに、豊かな自然を満喫しました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲カヤック体験の様子

けん玉にチャレンジ

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

初心者から上級者まで幅広く楽しめるけん玉体験を開催しました。けん玉の貸出もあり、多くの方が色々な技に挑戦していました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲けん玉にチャレンジする親子の様子

トレッキングツアー

■参加人数：7人

＜プログラムの状況＞

山を歩きながら楽しく登山に必要な知識や技術を学ぶトレッキングツアーを開催しました。緑豊かな自然に囲まれ、景色を楽しみながら、山を歩きました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲トレッキングツアーの様子

「モルック」をしよう

■参加人数：165人

＜プログラムの状況＞

砂浜で、木製のピンに木の棒を投げ合い、倒れたピンの点数を競うスポーツ「モルック」を行いました。165人の方が参加し、木のスポーツを楽しみました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲「モルック」を楽しむ参加者の様子

ようよう坂町ウオーキング ～里山散策～

■参加人数：13人

＜プログラムの状況＞

竹林や草花、木の実など、たくさんの自然に触れながら、水尻ベイサイド遊歩道にある展望台を目指してウオーキングを楽しみました。

参加者は、穏やかな瀬戸内海の風景に心が癒されていました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



森林整備

■参加人数：27人

＜プログラムの状況＞

水尻地区の森林整備を行いました。遊歩道にはみ出した木の枝や雑草を鎌で切ったりしました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲遊歩道の草取りの様子

森のネイチャーゲームで 楽しもう

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

自然を楽しく学ぶゲームを開催しました。子どもたちは、ビンゴゲームなどを通して、楽しみながら自然について学んでいました。

記録者：縫部未来 （坂町役場企画財政課）



▲森のネイチャーゲーム受付ブースの様子

走れるサンダルワラチづくり

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

「ワラチ」というサンダルを作る講座を開催しました。また、参加者は、自分の足に合わせて作るサンダルづくりを楽しんでいました。

記録者：縫部未来 （坂町役場企画財政課）



▲「ワラチ」というサンダルを作る様子

生協ひろしまこども広場

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

子ども向けの輪投げとバルーンアートを行いました。多くの子どもたちが楽しそうに遊んでいました。

記録者：縫部未来 （坂町役場企画財政課）



▲輪投げを楽しむ子どもの様子

特産品・飲食ブース

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

坂町の特産品や坂町公式マスコットキャラクター坂うめじろうグッズ、地元のパン屋さんが作るパンや焼き菓子、ベーグル、ドーナツ、山菜おこわ、串揚げ、牡蠣ピザなどが大集合し、多くの人で賑わいました。

記録者：縫部未来 （坂町役場企画財政課）



▲特産品・飲食ブースの様子



▲坂町の特産品



▲坂町公式マスコットキャラクター坂うめじろうグッズ



▲牡蠣ピザブースの様子



▲ベーグルや焼き菓子ブースの様子

ステージイベント

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

11時15分から14時まで、和太鼓やマンドリンの演奏、フラダンス、コーラス、ヒップホップダンスなど盛りだくさんのステージショーで、会場を盛り上げました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲和太鼓の演奏（坂和太鼓同好会・いもっ鼓）



▲フラダンス（M's オリジナルフラ）



▲マンドリンの演奏（坂マンドリンクラブ）



▲コーラス (Happy Smile)



▲ヒップホップダンス(リズムウォーカー)

森づくりパネル展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

森づくりパネル展示を行い、森林保全活動について周知しました。ひろしまの森づくりキャラクター「モーリー」も子どもたちから大人気で、森林保全への関心を高めることができました。

記録者：縫部未来 (坂町役場企画財政課)



▲森づくりパネル展示の様子



▲坂うめじろう (坂町マスコットキャラクター) とモーリー (ひろしまの森づくりキャラクター)

平成 30 年 7 月豪雨からの 復旧・復興パネル展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

平成 30 年 7 月豪雨を写真などで振り返り、自然災害に対する備えなどについての啓発を行いました。

記録者：縫部未来 (坂町役場企画財政課)



▲復旧・復興パネル展示の様子

自然環境について考える パネル展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

世界中で深刻な問題となっている海洋ごみについて考えるパネル展示を開催しました。海洋ごみが起こす問題、マイクロプラスチックの脅威などをわかりやすく説明し、自然環境について考えるきっかけづくりを行いました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲海洋ごみについて説明



▲マイクロプラスチック脅威の説明

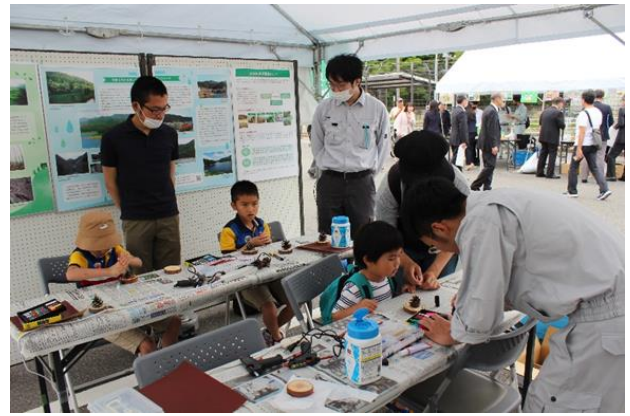
水源林造成事業パネル展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

水源林造成事業パネル展示と松ぼっくり等を使った工作体験会を実施しました。子どもたちは、夢中で工作していて楽しそうでした。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲水源林造成事業パネル展示の様子



▲工作体験している子どもたちの様子

消防車両の展示（坂町消防団）

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

山火事を起こさないための火災予防の広報を兼ねて、消防車両の展示を行いました。多くの親子連れが、消防車両と写真を撮ったり火災予防の広報に耳を傾けていました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲消防車両展示の様子

NEXCO 西日本展示

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

平成 30 年 7 月豪雨災害時における NEXCO 西日本の取組みに関するパネル展示やクレアライン 4 車線化についての周知を行いました。キャラクター「ウェイウェイくん」も子どもたちから大人気で多くの人で賑わっていました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲NEXCO 西日本の取組みについて説明している様子



▲NEXCO 西日本キャラクター「ウェイウェイくん」

閉会式

■参加人数：多数

＜プログラムの状況＞

閉会式では、ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会アドバイザーの、広島大学 中越 信和名誉教授に講評をいただきました。

講評後、次回開催地の東広島市へ山の日フラッグの引継ぎが行われました。最後は、来場者の方への感謝の気持ちを込め、紅白の餅まきが行われ、盛況のうち終わることができました。

記録者：縫部未来（坂町役場企画財政課）



▲広島大学名誉教授 中越信和氏の講評



▲令和 6 年度開催地 東広島市へ山の日フラッグの引継ぎ



▲来場者へ感謝の気持ちを込めて餅まき

②府中町会場 水分峡森林公園

全体

■参加人数：500人

＜プログラムの状況＞

府中町会場は水分峡森林公園で開催しました。天候にも恵まれて、メイン広場では府中中学校、府中緑ヶ丘中学校の吹奏楽部や MUSE（ミューズ）の演奏、丸太切り競争といったステージイベントがあり、飲食ブースも沢山の店舗が並んで大いに盛り上がりました。清流に沿って少し上流側に位置する水分神社下広場では、みくまりの森サポートクラブ（森林ボランティア団体）による工作教室やスウェーデントーチ作り、薬草鑑賞ツアーなどといったプログラムが催され、「山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ」をテーマとして、多くの方に山と触れ合っていました。

また、コロナ禍の影響もあってソロキャンプが注目されていますが、BearsRock(株)（アウトドアメーカー）によるキャンプ用品の展示や体験があり、さらにはマツダ(株)による、災害や停電時等に威力を発揮する PHEV タイプの新型車 CX-60 を使用した車中泊体験等があり、平成 30 年 8 月豪雨の影響で甚大な被害を被った経験から多くの方が非常に関心を持たれていたことがよくわかりました。

今回、府中町観光協会をはじめ、様々な団体のご協力により、多岐にわたるイベント活動を通じて、山と直接触れ合って、自然を大切にする気持ちや、山を好きになる人の輪をより一層広げていくことができました。

記録者：大可功三（府中町役場環境課）



▲会場の様子



▲工作教室の様子



▲スウェーデントーチ作りの様子



▲薬用植物ツアーの様子



▲MUSE 演奏の様子

③海田町会場 海田総合公園

全体

■参加人数：300人

＜プログラムの状況＞

海田町会場は、日浦山と、海田総合公園で開催しました。日浦山では、登山を行い、山と触れ合うことができました。海田総合公園では、ドローン体験、和太鼓演奏、工作教室、物販が行われ、天候にも恵まれて多くの来場者で賑わいました。

記録者：上里洋子（海田町建設部都市整備課）

日浦山に登ろう

■参加人数：22人

＜プログラムの状況＞

海田里山ガイドの会の案内により、日浦山登山を行いました。9時30分に集合し、準備体操等を行った後出発しました。途中、海田里山ガイドの会の方より、山の植物や、歴史のお話をしていただき、12時前に山頂に到着しました。

山頂では、各自軽食をとり、山頂からの景色を楽しんだ後13時過ぎに下山しました。

子どもから大人まで幅広い年齢の方が参加され、また、海田町在住の方のほか、広島市、安芸高田市からも参加していただき、山に親しんでいただくことができました。

記録者：上里洋子（海田町建設部都市整備課）



▲日浦山登山 地獄岩での様子

ドローン体験

■参加人数：100人

＜プログラムの状況＞

実際にドローンを操縦したり、シミュレーターを使ってのドローン操縦を楽しんでいました。また、プロが操縦したドローンによる上空からの空撮映像を見て、公園全体の景色を楽しみました。

記録者：上里洋子（海田町建設部都市整備課）



▲シミュレーターを使ってドローン操縦の様子



▲プロによるドローン操縦の様子

和太鼓演奏

■参加人数:多数

＜プログラム状況＞

海田町を中心に活動されている、和太鼓集団「打魂（だごん）～DAGON」の皆さんに 宮太鼓、桶胴太鼓、しの笛などの演奏をしていただきました。息びったりの荘厳な調べで、参加者全員が聞き入っており、演奏後は、子どもたちが実際に太鼓を体験し、大いに楽しみました。

記録者：上里洋子（海田町建設部都市整備課）



▲「打魂（だごん）～DAGON」演奏の様子



▲子どもたちが太鼓体験している様子

工作教室

■参加人数:34人

＜プログラム状況＞

地元のボランティア団体「青空会」の皆さんに、レーザーを使ったキーホルダーの作成を指導していただきました。作成したキーホルダーには、それぞれレーザープリンターで自分の名前やデザインを施して持って帰ってもらい、喜んでもらいました。

記録者：上里洋子（海田町建設部都市整備課）



▲レーザーを使ったキーホルダー作成の様子

物販コーナー

■参加人数:多数

＜プログラム状況＞

地元のボランティア団体「なんでも隊」の皆さんには、綿がしやポップコーン販売・スーパーボールすくいなど、また、就労支援施設「クローバー」の皆さんには、手作りのレザー小物を販売してもらい、参加者で賑わっていました。

記録者：上里洋子（海田町建設部都市整備課）



▲物販コーナーの様子

④熊野町会場 ゆるぎ観音周辺

全体

■参加人数：52人

＜プログラムの状況＞

熊野町会場は、町が重要文化財として指定しているゆるぎ観音を中心とした場所で開催をしました。

この、ゆるぎ観音周辺は、地元のボランティア団体を中心とした地域の方たちによる保全活動等により、町民の方にとっての憩いの場として大切にされてきた場所です。

イベント内容としては、山の中にある樹や植物等を観察しながら山頂までをゆっくりと歩く「自然観察会」、森の中に生息する野鳥を観察する「野鳥観察会」、森の中でとれた苔や木の実等を活用した「テラリウムづくり」の3つを開催しました。

当日は天候にも恵まれ、総勢52名の方に参加をして頂き、未就学児からご高齢の方まで多くの方に楽しんでいただくことができました。

記録者：内田直人(熊野町建設農林部農林緑地課)



▲「自然観察会」「野鳥観察会」集合写真



▲ゆるぎ観音



▲テラリウムづくりの様子

⑤東広島市会場 東広島市憩いの森公園

全体

■参加人数：207人

＜プログラム状況＞

東広島会場は、憩いの森公園の多目的広場をメイン会場として、山林内ではネイチャーゲームと山のグランドワークを行いました。

企業、学校、行政、一般市民、東広島みどりの少年団の団員を中心に、来賓およびスタッフを含めて総勢 207 名の参加がありました。「山の日」のミッションである「山に親しみ、山の恩恵に感謝する日」を念頭に、里山の手入れを行う「山のグランドワーク」をメイン行事として、自然を感じ、自然に親しむ「森のネイチャーゲーム」、林業を身近に感じる「森の木工作体験」、森の恵みを学ぶ「森の恵み体験教室」、里山を源流とする流域河川の生きものと保全活動を知る「半尾川の生きもの展示」を行いました。

当日は晴天にも恵まれ、初夏のような日差しの下、安全かつ楽しく実施することができました。とりわけ山のグラウンドワークは、記念すべき第 100 回目の開催となり、約 2,000 m²の整備を終えることが出来ました。本会場では、10 月にも山のグランドワークを予定しています。参加全員で再会を約束し、笑顔での閉会となりました。

記録者：川本吉太郎（山と水の環境機構 事務局）



▲開会挨拶 島 靖英 実行委員長



▲来賓挨拶 鈴木嘉一郎 東広島市産業部長



▲来賓挨拶 高野 茂 広島県東広島農林事業所・所長



▲東広島みどりの少年団による「山の日宣言」



▲全員の安全を祈願して「どんぐりころころ」唱和！

山のグラウンドワーク

■参加人数：120人

<プログラム状況>

今回は、「ふれあいの広場」周辺を対象に、灌木の下刈、除伐と木材チップ化を行いました。現地到着後、松浦指導者から、作業の目的、ノコギリの使用方法、安全装備の確認など安全管理についての指導を受け、作業を開始しました。伐採木をチップパーで粉碎し、チップ化する2班と、伐採木を現地で棚積する6班で役割分担しました。木材チップ班では伐採木をチップパーの設置場所まで人力で移動し、チップ化しました。約0.45 m³程の木材チップを生産しました。棚積班では、伐採木を等高線上に積み上げていきました。最終的に、約2,000 m²の手入れを行うことができました。作業終了後、参加者の豊かな表情が印象的でした。

記録者：水友裕樹（賀茂地方森林組合）



▲灌木の下刈、除伐を行う様子



▲山のグラウンドワーク 100回記念手ぬぐいをプレゼント！



▲憩いの森での再会を約束し、笑顔いっぱいの記念写真

森のネイチャーゲーム

■参加人数：47人

<プログラム状況>

三輪車を散策しながら、カードに書かれた様々なミッションをクリアするフィールド備後ゲームを行いました。参加者は、メンバーと相談しながら「ヨコもようのみき」「ちくちくする葉」「りょう手でかかえられない木」を探すなどのミッションに取り組み、メンバー全員の同意を得たものを答えとしてビンゴカードをクリアしました。その後は、見晴らしの良い場所に行き、目を閉じて聞こえる音の数を数える「音いくつ」、樹木の気持ちを代弁する「木のセリフ」などに取り組みました。

記録者：川本吉太郎（山と水の環境機構 事務局）



▲参加者に葉っぱの説明をする浅野敏久氏（広島大学教授）



▲「この枝ってなんなん〜？」

参加者からの質問が飛び交います

森の木工教室

■参加人数：50人

<プログラム状況>

梅雨入りし、天候のことが心配でしたが、爽やかな晴天の下、開催できたことをうれしく思います。このたびは、県産間伐材を利用して、椅子作りに挑戦してもらいました。普段あまり使うことのない金槌を使つての釘打ちなど悪戦苦闘しながらも、最後まで一生懸命頑張って完成させてくれました。これからも山と木に触れ合う機会に少しでも貢献していきたいと思います。

記録者：松浦尚樹（賀茂地方森林組合）



▲オリジナルの椅子を真剣に作ります



▲専門的な指導をいただきながら、手作り椅子を仕上げる！

森の恵みクラフト教室

■参加人数：50人

<プログラム状況>

虫が嫌いな植物の香りを利用して、虫を近づけない「虫さんバイバイスプレー」作りをする体験教室を行いました。ハーブという香りを発する植物（今回はミントの葉）を実際に触ったり匂いを嗅いだり、また、ハーブのもつ芳香物質を集めた「精油」を幾つか嗅いで、どれが虫が嫌いな香りかを予想するクイズを通して、楽しく香り体験をしました。植物由来成分のうち、害虫忌避作用（蚊・ダニ・ノミに対応）がある、シトロネラルは、ユーカリレモン精油の中に一番多く含まれています。乳化剤の役割の、ひまわり種子オイルからできたバスオイルを乳化剤として、ユーカリレモン精油と水を、薬剤耐性のあるスプレー容器に入れて混ぜ合わせ「虫さんバイバイスプレー」を完成させました。有機物の腐敗の関係上、冷蔵庫保存して早めに使い切るなど、取扱の注意や、精油の作られる工程なども図解で学びました。

記録者：大窪かおり（happinessmile Aroma）



▲「虫さんバイバイスプレー」の作り方を説明する大窪さん



▲「イラストがあって、作り方がわかりやすいね！」



▲ミントの葉を使って、天然素材のスプレーを作りました

半尾川の生きもの展示

■参加人数：43人

<プログラム状況>

東広島市会場である憩いの森を源流とし、西条市街地を流下する半尾川に棲む生きもの展示と解説を行いました。専門スタッフが生き物の名前や生態を解説し、また半尾川の清掃の状況や実施している美化活動について紹介しました。展示した生きものは、ハグロトンボ、オオコオイムシ、ドジョウ、アカハライモリ、ヌマガエル、トノサマガエル、クサガメ、サワガニ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニなどでした。展示物を鑑賞する子どもたちの表情が輝いているのが印象的でした。

記録者：川本吉太郎(山と水の環境機構 事務局)



▲子どもから大人まで大人気の生きもの展示でした



▲興味深そうに専門員さんのお話を聞く子どもたち



▲展示に興味津々の子どもたち

⑥廿日市市会場 県立もみのき森林公園

全体

■参加人数：800人

＜プログラム状況＞

“安全な森を作ろう！”の合言葉で展開されたこの日のプログラムは、「森林整備」「森のネイチャーゲーム」「ポニーと遊ぼう」「木工体験」「魚のつかみどり」のプログラムなどを実施した。

“安全な森を作ろう！”を合言葉の森の手入れは、大径木の伐倒等をおこなうので、安全のため参加者を4グループに分けて活動をした。

●1グループは、山仕事の経験豊富な方達で、ナラ枯れの木（直径60cm以上）を3本伐倒し集積した。（24人）

●2グループは、森林ボランティアの経験者は、根がえりしている危険木（直径30cm以上）3本を伐倒し玉切りして集積した。（4人）

●3グループは、伐倒には自信のある方で、オートキャンプ場内のサイトの木危険木（直径55cm）2本を伐倒玉切りにし、集積した。（3人）

●4グループは、指導力に定評のある森林ボランティアで、最初に一般参加者には、丸太切りでノコの使用方を習得してもらい指導者と共に見通しのきく森づくりをした。（20人）

また、今年度中に駐車場エリアがリニューアル工事の花壇の撤去に伴い現在植えているハーブ（ラベンダー、ミント、タイムなど）を中心とした植物を「山の日」参加者に引き取って育ててもらう活動も実施した。

この日、もみのき森林公園で行なわれた森林の多様性に関する体験活動は、次のとおりです。

○ 森のネイチャーゲーム	参加者	18人
○ ポニーと遊ぼう	参加者	57人
○ 木工体験	参加者	60人
○ 魚のつかみどり	参加者	91人
○ ハーブ等の無償提供	参加者	41人

記録者：梅田 斉

（一般財団法人もみのき森林公園協会）



▲ナラ枯れの木伐倒の様子



▲森の手入れの様子



▲森の手入れの様子



▲森のネイチャーゲームの様子



▲ポニーと遊ぶの様子



▲木工体験の様子



▲羽釜でご飯炊きの様子



▲魚のつかみどりの様子



▲公園センター「もみのき荘」

⑦広島市会場 ひろしま遊学の森（広島県緑化センター）

全体

■参加人数：131人（入園者数約 650人）

レストハウス駐車場を会場に、午前10時、山根副委員長の挨拶で開会し、可部南グリーンズみどりの少年団による「山の日宣言」の後、4班に分かれて園内の森林整備・除伐活動に取り組みました。

会場では「自由工作塾」、「丸太切り体験」、及び「森のネイチャーゲーム」の計3つの参加型プログラムを実施しました。

記録者：行森 章（広島県緑化センター）



▲可部南グリーンズみどりの少年団による「山の日宣言」

森の手入れ

■参加人数：65人

＜プログラム状況＞

1班～3班のみどりの少年団は、県木の森内でモミジの木を守る除伐作業に取り組み注意深く作業を進めました。4班は経験者も多く作業後の林内は見違えるように明るくなりました。

記録者：行森 章（広島県緑化センター）



▲作業終了後の記念撮影

自由工作塾

■参加人数：34人

＜プログラム状況＞

木片や小枝、松ぼっくり、どんぐりなど色々な自然素材を準備しました。参加者は、まず自分で自由に材料を選び、グルーガン・接着剤で取り付けたり、カラーペンで色付けしたり、自由な発想で自然素材を活用しての木工クラフトに熱心に取り組んでいました。

記録者：行森 章（広島県緑化センター）



▲自由工作塾の様子

森のネイチャーゲーム

■参加人数：10人

＜プログラム状況＞

広島市シェアリングネイチャーの会の指導のもと、自然を観察しながら自然に触れ合う機会となりました。

記録者：行森 章（広島県緑化センター）



▲参加者の様子

⑧広島市会場 ひろしま遊学の森（広島市森林公園）

全体

■参加人数：141人（入園者数約 1,277人）

＜プログラム状況＞

9:30 に実行委員長の広島市森林公園副島園長の挨拶と、NPO 法人もりメイト Hiroshima 倶楽部山本理事長のひろしま「山の日」の経緯と概要の説明を行って始まりました。

活動は、当日の盛況と無事故を祈って開始しました。当日は、梅雨の最中にも拘らず好天に恵まれ、予定通りイベントを開催できました。

記録者：桑田 莊一郎（広島市森林公園）



▲ひろしま遊学の森(広島市森林公園)副島靖夫園長 挨拶



▲もりメイト倶楽部Hiroshima 山本理恵由美理事長によるひろしま「山の日」の経緯について説明

さくら救出大作戦

■参加人数：26人

＜プログラム状況＞

3班に分かれ頂上の山城展望台南側まで登山をして、樹木が生い茂り見晴らしが悪かった景観の改善と、過去に植樹された桜に太陽光線が十分に当たるように周辺木の除伐をしました。親子で参加された方から、「楽しかった。またノコギリで木を伐る体験がしたい」と感想がありました。参加して頂いた皆さまのお陰で当初の目的を達成することができました。

記録者：山本理恵由美

（もりメイト倶楽部Hiroshima 理事長）



▲サクラ周辺の支障木の伐採の様子

グリーンアドベンチャー

■参加人数：80人

＜プログラム状況＞

本コースは「管理ボランティア フォレストクラブ森守」が中心となって13年前に整備されたもので、森林公園内をクイズラリー方式でトレッキングできる常設コースです。延長2,150m、標高差150m、雑木林、人工林、モミジ植栽林、溪流園路、つり橋など変化に富む園内のコースに問題を18問設置しており、回答用紙を兼ねた探検地図は何度も再版を重ねるほどの当公園の人気定番イベントのひとつでもあります。

今回はコースの整備に加え、いくつかの問題をSDGsに因んだものに更新して「山の日」に臨みました。当日は天候にも恵まれ、参加者25組74人全員がゴールされました。参加者には、当公園オリジナルの記念品「押し花入りのしおり」「どんぐりと木製置物」を、さらに成績優秀者(ただし子ども限定)には、「昆虫缶バッチ」「竹のかぐや姫」などをプレゼントしています。

記録者：牟田口 努（広島市森林公園）



▲さて問題です、チーム？それとも個人で解くか？

森のネイチャーゲーム

■参加人数：34人

＜プログラム状況＞

① 「カモフラージュ」

道のわきに目立たないように置かれた人工物を注意深く探します。まわりに同化する色になった（保護色）、色や形を周囲の他のものに似せたり（擬態）して、カモフラージュしている生きものが、身近なところにもたくさんいます。敵から身を守ったり、獲物を捕らえたりするための、生きものの生存のための知恵と言えるでしょう。だんだんと子どもよりも大人の方が前のめりで探す姿が印象的でした。

② 「めざせ名探偵」

証拠品をもとに、1本の木の特徴をしっかりとらえ、その木を探しあてます。森林公園の中にはたくさんのお木がありますが、それぞれに特徴や個性があ

り、まったく同じ木はありません。木の特徴をしっかりとらえ、どんな木かを推理してあてて通して、木にも個性があることに気づいてもらいます。見つけれなかった子もほかの仲間の推理を聴き、納得しながら、よく観察することで見つけれられることを感じていました。

③ 「宝さがし」

宝もののリストにある木の実や鳥の羽根など、森の中にある宝ものを見つけます。自然の中には様々なものが落ちています。これらをただ漠然と見るのではなく、あるテーマをもって注意深く観察してみると、思わぬ発見があり、自然物の持つ魅力を感じることができます。さらに、見つけてきた宝ものを互いに見せ合い、分かち合うことで自然への気づきが深まっていきました。

④ 参加記念「森のクラフト；カードスタンド」

トレーナーが用意した松ぼっくりを土台に木の枝やモールなどで飾ったり、針金でカードの留め具を作ったりしながら、オリジナルのカードスタンドを作成し記念に持ち帰って頂きました。今回のクラフトは、親子揃って夢中になり、様々な作品を作っていました。

記録者：表田啓太郎

（広島市シェアリングネイチャーの会）



▲①「カモフラージュ」 みんなで見つけた人工物を確認!!

⑨三原市会場 高坂自然休養村管理センター

全体

■参加人数：１００人

＜プログラム状況＞

三原市会場は、昨年までの「県立中央森林公園」から、初めて「高坂自然休養村管理センター」へ会場を移した開催でありました。高坂もみじの郷は、例年、自然を満喫して頂く機会の一助として“新緑/佛通寺ノルディックウォーキング”を開催してきていました。そこへ、この度、山の日集い開催のお声かけにあたり、昨年まで里山手入れ支援されていたNPO法人団体（森のおさるさん・フォレストサポートクラブ・尾三地方森林組合）の皆さまのお力を借りて、山の日集いを開催することが出来ました。

新会場ということで8時～交通誘導を行ない、9時～受付、9時 30 分～開会式を行ない、主催者代表挨拶（先小山実行委員長）・来賓では三原市代表（磯谷経済部長）に挨拶を頂きました。注意事項という点では“熱中症対策”についても触れました。

「里山手入れ」にあたっては、前段階で、下刈り作業に2回入って頂き、当日参加者を迎え体験を頂きました。また、家族参加による“木工クラフト教室”は、大変子供さんに喜ばれた企画で、大変良かったと思います。一方、「ノルディックウォーキング（約 5 kmコース）」は、講師を招聘し注意事項や柔軟体操を行ないスタート。途中では、佛通寺さんの協力を頂き、“歴史散策”の丁寧な説明や短時間ながら“坐禅体験”も折り込んだ企画についても、参加者に大変喜んで頂きました。

閉会式は、里山手入れとノルディック終了時間に差異があったため、個々の閉会と致しました。多くの参加者を得て、天候にも恵まれ怪我なく終了できたことを嬉しく思っております。

記録者：西中 弘（高坂自然休養村管理センター）



▲開会式の様子



▲山の手入れの様子



▲ノルディックウォーキングの様子



▲木工クラフト教室の様子



▲丸太切り体験の様子

⑩福山市会場 ふくやまふれ愛ランド

全体

■参加人数：30人

＜プログラム状況＞

第21回ひろしま「山の日」県民の集いを、6月4日(日)に福山市赤坂町にある【ふくやまふれ愛ランド】にて今年も開催致しました。5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類禍に移行された影響なのか、昨年度より若干多い30人の参加人数となりました。

午前10時から開会式が始まり、開会の挨拶に続いて「開会宣言」と「山の日宣言」を行いました。開会式終了後、山のグランドワーク(里山の手入れ)を行うため、軍手とヘルメットを身に着け、現地の山林内(D遊歩道沿い)へ向かいました。今年は、より1人でも多くの方に植樹した苗木を見てもらえるよう、【ふくやまふれ愛ランド】へ向かう道路沿いに植えることにしました。雨で土壌も昨年よりは柔らかくなっていましたが、普段スコップ等を使う機会も少ない女性陣は、土を掘り起こすのに悪戦苦闘。男性陣の力を借りながらなんとか植樹することができました。将来、今回植樹した松月桜が満開になり、【ふくやまふれ愛ランド】を利用される方々が楽しんでもらえたら幸いです。

記録者：繁田健司(光和物産株式会社)



▲里山の手入れの様子



▲植樹をしている様子



全体

■参加人数：256人

＜プログラム状況＞

第21回ひろしま「山の日」県民の集い北広島町会場は、(公社)日本山岳会広島支部、NPO法人西中国山地自然史研究会が企画・協力し、2つのプログラムと展示を準備しました。「初心者のための登山教室」は、少人数でしたが、展望の良さで人気の高い高岳に登山しました。「霧ヶ谷湿原自然再生地の整備」では、27名のボランティアが参加してくださいました。受付方法でアクシデントがあったため団体間の連携が今後の課題となりました。さらに、芸北 高原の自然館内で、植物学者牧野富太郎博士が八幡高原を訪れた際に残した俳句の掛け軸のレプリカを展示しました。牧野富太郎博士の生涯をとりあげる NHK 朝ドラ「らんまん」の影響と、すぐ近くで行われたカキツバタ祭りのおかげで217名の来館者がありました。

開会式では、小学生のころから自然観察会に参加している大学生による山の日宣言も読み上げられ、小さなころの原体験が自然に親しみ、理解を深めることにつながるのではないかと感じました。

ひろしま「山の日」県民の集いをきっかけとし、山林への関心や関わりを高めていただければと思います。

記録者：河野弥生

(NPO 法人西中国山地自然史研究会)



▲参加者へ作業の説明をしている様子

霧ヶ谷湿原自然再生地の整備

芸北 高原の自然館前広場において、初心者登山教室・霧ヶ谷湿原保全活動の参加者全員による開会式が行われ、大学生による「ひろしま「山の日」宣言」がおこなわれました。

今回、霧ヶ谷湿原保全活動の参加者は計27人でした。開会式の後、霧ヶ谷湿原の駐車場に移動し、機械班と手作業班の作業内容及び作業場所の説明を行った後、それぞれのリーダーの先導で作業場所に入り作業を開始しました。今回の作業地は第一・第二取水堰の東端にあたる場所で、手作業班は機械班との接触を防ぐため、一週間前に準備作業で伐開した萌芽灌木やノイバラを奥部の数ヶ所に集める作業を行いました。刈払機班は準備作業の延長エリアである第一取水堰の右岸の伐採、チェーンソー班は、左岸県道側エリアの倒れた木の伐採をしました。

午後は、刈払機班は3年前に皆伐した少し下流のエリアに作業場所を移し、手作業班も隣接エリアで伐採木等の整理作業。各班の作業は事故もなく、ほぼ計画通り進み作業を終了しました。駐車場において閉会式を行い、参加者の労をねぎらい解散しました。撤収後、事務局とスタッフによる「振り返り」も実施しました。

記録者：斎 陽((公社)日本山岳会広島支部)



▲刈払機班作業の様子



▲手作業班作業の様子



▲参加者の集合写真

初心者のための登山教室

当日の天候は曇りであったが日差しが少ないため、暑さを感じることもなく歩きやすい登山日和でした。参加スタッフ5名に対し参加者は6名の少数となりましたが、その分和気藹々で楽しい山行で終始しました。スタッフを含めた参加者の年齢は78才から13才と幅が見られたが、年齢差を感じることもなく初心者を含めて順調な歩行が感じられました。

入山間もなく倒木で壊れた橋を迂回して、事前に準備した渡り板を使って徒渉し進みましたが、登山道は整備が行き届き危険を感じることはありませんでした。稜線の登山道では久しぶりに咲いたササの花などを楽しみ予定時間どおりに高岳頂上に到着。少し早めの昼食を取りましたが、頂上では曇りの天候にもかかわらず、雲高の高さから恐羅漢山、聖山、臥竜山、掛頭山、深入山、そして聖湖への眺望は素晴らしく、参加者全員が景観を楽しみました。

気温が上がってブヨが出てきたため集合写真を撮影後、少し早めに下山を開始し、順調な歩行で予定より30分早く登山口に到着。車に分乗して高原の自然館前に集合、振り返りと意見交換後に散会しました。

参加者の感想としては、非常に楽しい山行で次回も是非参加したいとの声が多く聞かれました。また、このような機会を多く作って参加させて欲しいとの意見もありました。

記録者:近藤道明((公社)日本山岳会広島支部)



▲高岳山頂にて記念撮影

牧野富太郎博士に関する展示



▲高原の自然館展示の様子

⑫三次市会場 酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう

全体

■参加人数：114人

＜プログラム状況＞

みよし会場は、酒屋いこいの森をメイン会場、ほしはら山のがっこうをサテライト会場として114名が参加し「山の日」の行事を行いました。

メイン会場の酒屋いこいの森では、県外を含め79名の参加者と21名のスタッフが参加しました。午前9時からの開会行事では、実行委員長のあいさつ、酒河小学校の生徒による「山の日宣言」の後、全員で「森の手入れ」を行いました。

その後、木のキーホルダーとヒノキノおにぎりづくりを体験する「木工クラフト」、廃油を活用した「エコ石鹸づくり」、会場の森の中を探索しながらの「野鳥をさがそう」、「ツリーハウスで木登り体験」に分かれて森や木に親しむ「山の日」を過ごしました。

サテライト会場のほしはら山のがっこうでは、県内あちらこちらから親子連れの参加者35名とスタッフの方13名が参加しました。午前10時からの開会式では、里山の多面的機能とこれからの利用について NPO 法人ほしはら山のがっこうの体験塾スタッフが説明し、森づくりの目的を共有しあい全員で森の手入れを行いました。

その後、ネーチャーゲーム、間伐材で自由工作、焚火でおやつづくりなど、午後3時の閉会式まで、五感を通して山の日を楽しく過ごしました。

当日は、晴天に恵まれ各会場とも子どもたちでいっぱいとなり、順番待ちになるなど短い時間でしたが思い思いに楽しみ有意義な「山の日」になりました。

記録者：竹常明仁(三次市 産業振興部 農政課)



▲開会式 「山の日」宣言

酒屋いこいの森メイン会場



▲みんなで森の手入れの様子



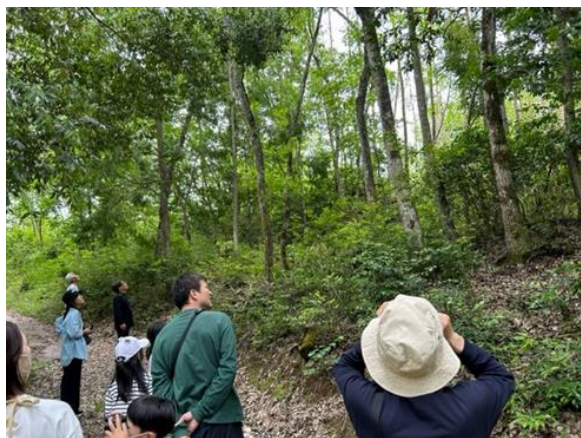
▲木工クラフト（ヒノキノおにぎり作り）



▲木工クラフト（キーホルダー作り）



▲エコ石鹸づくり



▲野鳥をさがそう



▲ツリーハウスで木登り体験

三次市サテライト会場 ～ほしはら山のがっこう～



▲開会式の様子



▲背負子で間伐した枝運び



▲森づくり作業（ほしはらの森づくり・周遊道の整備）
木のいろんな運び方を学んで、やってみました。



▲ネイチャーゲーム「目かくしトレイル」
(広島さとやまシェアリングネイチャー協会)



▲葉っぱのたたき染めでコースターづくり
(ひろしま森のおもちゃ協会)



▲森のおやつづくり：桑の実を採っている様子



▲森のおやつづくり：グミのジャム作り



▲森のおやつづくりの様子



▲ため池の自然観察の様子



▲集合写真

⑬呉市会場 野呂山(野呂高原ロッジ周辺)

全体

■参加人数：217人

＜プログラム状況＞

呉市会場では4年ぶりの開催となりましたが、天候にも恵まれ過去最高の217名の方にご参加頂きました。山の手入によりヒノキ林は健全な状態に保たれました。ハイキングは展望台から瀬戸内海の島々を一望でき、大変満足できるものとなりました。ネイチャーゲームには多くの子供達が参加、自然に触れ、知る事のゲーム内容に興味津々の様子でした。丸太切りは多少切るのに苦労しながらも達成感を味わっていただきました。切った丸太には、山の日の焼印を押し記念品としてもらいました。

記録者：橋本彰光(中国木材株式会社)



▲山のグラウンドワーク（森林整備）の様子



▲瀬戸内海を一望できる展望台までハイキング



▲檜の丸太切りの様子



▲切った丸太は焼印を押しして記念品に



▲参加者全員で集合写真

全体

■参加人数：1,200人

＜プログラム状況＞

開会時刻の10時になると、司会の挨拶と実行委員会委員長の開会の挨拶が行われ、開会が宣言されました。一部の体験ブースは早々に数時間後までの予約が埋まり、参加者受入に比較的余裕のあるブースも数十人の待ち人数が発生するほどの人気でした。

飲食店の出店ブースでは、大竹市の地元団体や企業、繋がりのある学校の参加があり、地元の食材を用いた焼きそば、魚介料理、焼き菓子、ピザ等を買求める長蛇の列ができていました。

会場中央の休憩スペースでは、除菌ウェットティッシュを用意し、新型コロナウイルス感染症対策も行い、看護師に常駐してもらいました。絆創膏を使用する程度の怪我をした参加者はいましたが、大きな事故はありませんでした。昼過ぎには来客が落ち着き、休憩スペースでゆったりと過ごす方が増えました。追加で受付が可能な体験ブースは、最後まで子ども達で賑わっていました。閉会時刻の15時になると、閉会宣言がなされ、盛況な中で本イベントを終了することができました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）

ツリークライミング体験

■参加人数：76人

＜プログラム状況＞

専用の道具を用いて、木に登る体験を行いました。好評を博し、予約は早い段階で一杯となりました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）



▲ツリークライミングを体験する子どもたち

初心者の為の三倉岳登山

■参加人数：22人

＜プログラム状況＞

別会場の三倉岳駐車場に集合し、準備体操の後登山をおこないました。大竹山の会のメンバーの方に登山マナーの説明やゴミ拾いを行いながら登山を行い、都度、本部との連絡も行いました。登山コースは、豪雨被害により未復旧のコースがあるため、1つのみでおこないました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）

木製マガジンラック作成体験

■参加人数：50人

＜プログラム状況＞

木製のマガジンラックキットを参加者に組み立ててもらうことで、木の温もりを感じてもらいました。ボランティアスタッフのサポートを受けながら、それぞれがマガジンラックを作成していました。用意をしていたマガジンラックキットは、早い段階で品切れとなりました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）



▲マガジンラックを作成する様子

木工クラフト作成体験

■参加人数：91人

＜プログラム状況＞

木切れ、枝、色付け道具や接着剤等を用いて自分だけの作品を製作しました。また、数量限定で、フクロウの置物キットも用意しました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）



▲自分だけの作品を作成している様子

手すき和紙体験

■参加人数：100人

＜プログラム状況＞

大竹市の伝統工芸である手すき和紙の作成を体験してもらい、大竹市の伝統工芸を知ってもらう良い機会となりました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）



▲手すき和紙体験をしている子どもたち

薪割り体験

■参加人数：91人

＜プログラム状況＞

参加者に楔を用いた薪割り及び割った薪を束にする体験を行ってもらいました。束にした薪は希望者に持ち帰ってもらいました。近年のキャンプ、焚き火人気もあり、多くの人が薪の束を持ち帰りました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）



▲指導を受けながら薪割り体験する様子

テントサウナ見学

＜プログラム状況＞

広島、山口の各地でテントサウナを運営している担当者が、テントサウナを展示及び紹介をしました。

記録者：西山尚徳（大竹市総務部産業振興課）



▲テントサウナを見学する来場者

⑮世羅町会場 せら夢公園 せらワイナリー

全体

■参加人数：120人

＜プログラム状況＞

第21回ひろしま「山の日」県民の集い世羅町会場をせら夢公園で開催しました。3日に開催した前日イベント「チェーンソー講習会」では、ひろしま森づくり安全技術技能推進協議会から講師を招き5人が、チェーンソーの使い方や注意点を学び、木を切る実技を行いました。4日のイベント当日では、開会式にて山口勝博実行委員長による開会挨拶、奥田正和町長、米重典子議長による来賓祝辞があり、株式会社セラアグリパークの宮本幸三さんによる山の日宣言が行われ、行事を開始しました。当日は、親子連れを中心に約120人の方々にご来場いただき、体験活動に参加しました。世羅町会場では、「山の日本工体験」「しいたけ菌打ち体験」「薪ストーブ体験」「里山の木をきろう」「薪づくり体験」「里山の自然を観察しよう」の6つのプログラムにて森林・林業体験プログラムを行いました。昼から雨により中止となりましたが、子どもから大人まで幅広い世代の方々に山に親しんでいただくことができました。

記録者：横田康之（世羅町役場産業振興課）



▲山口勝博実行委員長 開会挨拶



▲奥田正和町長 祝辞



▲米重典子議長 祝辞



▲宮本幸三実行委員 山の日宣言

チェーンソー講習会

■参加人数：5人

＜プログラム状況＞[開催日：6月3日(土)]

ひろしま森づくり安全技術技能推進協議会から講師を招き、午前中チェーンソーの使用の仕方や注意点を学ぶ座学を行い、午後からチェーンソーを実際に使用し、丸太を切る実技を行いました。便利な一方、危険が伴うチェーンソーについて、参加者の皆様は講師のあげる注意点を熱心に聞かれておりました。

記録者：横田康之（世羅町役場産業振興課）



▲チェーンソー講習会の様子

山の日木工体験

■参加人数：20人

＜プログラム状況＞

広島県産材を使用したマガジンラックやフラワースタンドの木工体験を行いました。

マガジンラックの完成後は、好きなイラストを描くなどして、オリジナルの作品を作成し、とても満足していただきました。また、木製品の良さを皆さんに知っていただく良い機会となりました。

記録者：横田康之（世羅町役場産業振興課）



▲マガジンラックを制作している様子

しいたけ菌打ち体験

■参加人数：23人

＜プログラム状況＞

しいたけ原木を利用して、しいたけドリルによる穴あけ、菌打ち体験を行いました。参加者の中には初めて菌打ちに挑戦される方もおられました。

記録者：横田康之（世羅町役場産業振興課）



▲しいたけ菌を打ち込んでいる様子

薪ストーブ体験

■参加人数：10人

＜プログラム状況＞

薪ストーブの体験会を行いました。環境にやさしいと言われる薪ストーブを立ち寄って見られる方もいらっしゃいました。

記録者：横田康之（世羅町役場産業振興課）



▲薪ストーブの体験会受付の様子

里山の木をきろう

■参加人数：8人

＜プログラム状況＞

自然観察園内の小木を切る体験をしました。親子ずれの参加者が多く、初めてノコギリを握って、木を切ってみたお子様もいらっしゃいました。

記録者：横田康之（世羅町役場産業振興課）



▲ノコギリ体験をしている様子

薪づくり体験

■参加人数：2人

＜プログラム状況＞

薪割り体験は手動薪割り機を使って行いました。参加者は、初めて薪割機を使ってとても楽しそうに薪割を行って居られました。

記録者：横田康之（世羅町役場産業振興課）



▲手動薪割り機を使っの薪割り体験の様子

里山の自然を観察しよう

■参加人数：41人

＜プログラム状況＞

せら夢公園の自然観察園で自然の生物の観察会を行いました。プログラムを第1部・第2部と分けて行い、自然観察園の各ポイントで講師の方から説明があり、カメラを片手に多くの参加者にせら高原の自然に親しんでいただくことができました。

記録者：横田康之（世羅町役場産業振興課）



▲自然観察園の各ポイントで説明を受けている様子



▲世羅町会場の様子



⑩神石高原町会場 帝釈峡神龍湖

全体

■参加人数：30人

＜プログラム状況＞

昨年、メイン会場であった神石高原ティアガルテンから場所を変え、今年は帝釈峡神龍湖周辺の清掃活動を行いました。帝釈峡は名勝指定100周年を迎え、様々なイベントが企画されております。6月4日のひろしま「山の日」県民の集いでは、その先駆けとして、山や湖をきれいにしてお客を迎えたいという思いから実施をいたしました。

当日の参加者は広島市や三次市など、町外の家族での参加者や町内からは青年会の参加をいただき、土のう袋20袋分のゴミを回収することが出来ました。神龍湖は来訪者のゴミの他、川から流れてくるゴミが集束する場所のため、思いの外ゴミが多く、地域の問題にもなっております。SDGsの観点からみても山の美化により下流、そして海にゴミを流さない為の活動が出来たと思っております。また、ゴミを拾うことで自分がポイ捨てをしない意識作りを、子どもたちに伝えられたと思います。

記録者：惣道久敬（一社）神石高原町観光協会



▲地元の青年会がボートで湖面のゴミ収集の様子



▲山の中からは農業資材や数年たったゴミもありました。



▲子どもたちも頑張ってゴミを拾ってくれました。



▲限られた時間の中ではありましたが多くのゴミを回収できました。



▲清掃後の神龍湖の遊覧を楽しんでももらいました。



▲参加者全員で集合写真

3. 実行委員

実行委員会（全体）

■アドバイザー

城納 一昭 元・広島県副知事
中越 信和 広島大学名誉教授
伊藤 利彦 愛する熱帯多雨林のために再生紙で名刺を作る会 幹事 元・広島市収入役
奥迫 輝昭 (公社)広島県みどり推進機構 事務局長
岡島 鉄也 中国新聞社 代表取締役社長
宮迫 良己 (株)中国放送 代表取締役社長

■会長

前垣 壽男 西条・山と水の環境機構 理事長

■副会長

内海 康仁 光和物産株式会社 代表取締役会長
櫻井 充弘 ひろしま人と樹の会 事務局長
見勢井 誠 NPO法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 顧問
瀬川 千代子 エコロジー研究会 事務局長
山田 雅昭 (一社)広島県山岳・スポーツライティング連盟会長
箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会会長、
エコパークの森づくり副実行委員長

■委員

赤木 茂 光和物産(株) 取締役専務執行役員
秋山 浩三 広島県シェアリングネイチャー協会 事務局長
斎 陽 (公社)日本山岳会広島支部 支部長
井上 年光 阿品の森サポータークラブ 会長
上野 吉雄 NPO法人西中国山地自然史研究会理事長
小川 俊章 中国木材株式会社 総務課長
河野 弥生 NPO法人西中国山地自然史研究会
志々田 学 (公財)オイスカ広島県支部 事務局長
柴田 壮太郎 エコロジー研究会ひろしま
下手 義樹 (株)中国新聞企画サービス 次長
菅原 基晴 中央森林公園協会常務理事 兼事務局長
仙田 信吾 (株)サンフレッチェ広島 代表取締役社長
副島 靖夫 ひろしま遊学の森(広島市森林公園) 園長
田端 秀秋 (一財)もみのき森林公園協会 理事長
中嶋 剛二 広島県森林インストラクター連絡協議会
野本 利夫 NPO 法人ゆあーず「食」未来研究所 理事長
林 高正 板橋さとやま倶楽部 理事長
福永 やす子 (一社)広島県山岳・スポーツライティング連盟
細川 正紀 阿品の森サポータークラブ 事務局長
吉田 幸 株式会社中国放送 総務局広報部長
宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ 会長
渡部 英美 (株)中国新聞企画サービス 課長

(五十音順)

■監事

梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

■事務局（委員兼任:事務局長）

山本 祐二 NPO 法人ひろしま NPO センター 常務理事

各会場実行委員会

□安芸郡4町会場実行委員会

■実行委員長

吉田 隆行 坂町町長

■副委員長

齋藤 哲也 府中町副町長

■監事

山崎 真紀 海田町副町長

■監事

岩田 秀次 熊野町副町長

■事務局長

山本 保 坂町総務部企画財政課課長

□東広島市会場実行委員会

■実行委員長

島 靖英 西条・山と水の環境機構 運営委員

■副委員長

浅野 敏久 広島大学大学院人間社会科学研究科教授
呉・東広島シェアリングネイチャーの会

■運営委員長

松浦 尚樹 賀茂地方森林組合

■事務局長

清水 西条・山と水の環境機構 事務局

□廿日市市会場実行委員会

■実行委員長

田端 秀秋 (一財)もみのき森林公園協会 理事長

■副委員長

細川 正紀 阿品の森サポータークラブ 会長

■事務局長

梅田 斉 (一財)もみのき森林公園協会 事務局長

□広島市会場ひろしま遊学の森(広島市森林公園)会場 実行委員会

■実行委員長

副島 靖夫 広島市森林公園 園長

■副委員長

下 博文 広島市森林公園 副園長

■運営委員長

山本恵由美 NPO 法人もりメイト Hiroshima 倶楽部
理事長

■運営副委員長

林 良介 フォレストクラブ森守 代表

■事務局長

桑田 莊一郎 広島市森林公園

□広島市会場ひろしま遊学の森(広島県緑化センター)会場 実行委員会

■実行委員長

正本 大 みずえ緑地(株) 代表取締役社長

■副委員長・事務局長

山根 道廣 広島県緑化センター 所長

■運営委員長

行森 章 広島県緑化センター

■運営副委員長

小林 俊幸 広島県緑化センター

■事務局長

山根 道廣 広島県緑化センター 所長

□三原市会場実行委員会

■実行委員長

先小山 謙 もみじの郷

■副委員長

磯谷 吉彦 三原市経済部長

■事務局長

西中 弘 もみじの郷

□庄原市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□福山市会場実行委員会

■実行委員長

内海 康仁 光和物産(株) 代表取締役会長

■副委員長

赤木 茂 光和物産(株) 取締役専務執行役員

■事務局

繁田 健司 光和物産(株)

□三次市会場実行委員会

■実行委員長

箕田 英紀 三次市酒屋地区自治連合会 会長

酒屋森づくり実行委員会 委員長

■事務局長

松本 隆志 三次市産業環境部農政課 課長

□呉市会場実行委員会

■実行委員長

堀川 保幸 中国木材株式会社 最高顧問

■運営委員長

宮岡 泰久 サポート・トレッキング・グループ会長

■事務局長

小川 俊章 中国木材株式会社 人事課 課長

□北広島町八幡高原会場実行委員会

■実行委員長

上野 吉雄 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会
理事長

■事務局長

河野 弥生 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会

□尾道市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□安芸高田市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□安芸太田町会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□大竹市会場実行委員会

■実行委員長

森本 慶治

■副委員長

田室 浩一郎

■事務局長

前田 新吾 大竹市総務部 産業振興課 課長

□世羅町会場実行委員会

■実行委員長

山口 勝博 世羅郡森林組合 代表理事組合長

■副委員長

山本 稔 NPO 法人広島・せらマルベリークラブ
代表理事

■事務局長

垣内 賢司 世羅町産業振興課 課長

□大崎上島町会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□江田島市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□竹原市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□府中市会場実行委員会

※今年度は、開催しておりません。

□神石高原町会場実行委員会

■実行委員長

河相 道夫 (一社)神石高原町観光協会代表理事

■事務局長

富山 公明 (一社)神石高原町観光協会専務理事

※以上、2023 年 6 月 4 日時点での委員及び所属等を記載しております。

たくさんの方々に協力していただき行事を行なうことができました。心より感謝申し上げます。

4. ひろしま「山の日」県民の集いの歩み

1. 「山の日」のきっかけ

森林ボランティアに関わる人たちが全国から集まり、第7回森林と市民を結ぶ全国の集い（会期：2002年2月9日～11日 開催場所：広島県東広島市とその周辺 主催：第7回森林と市民を結ぶ県民の集い実行委員会他 総参加者：2,294人）が開催されました。その初日のシンポジウムにおいて、パネリストの1人から「山の日」をつくろうとの提案がされました。

提案を受け、分科会等での議論等を経て、集いの締めくくりに、私たちからのメッセージとし「6月の第一日曜日を山の日として、その日は山に関わろう」というメッセージを発信しました。

2. ひろしま「山の日」県民の集いの積み重ね

山の大切さをできるだけ多くの人たちに知っていただきたい。そのきっかけづくりとしてひろしま「山の日」県民の集いを広島県内各地の会場で開催しています。第1回～4回までは、広島県内1ヶ所の会場で開催していました。第5回以降、・メイン会場と・サテライト会場方式として県内数ヶ所で同時開催、コロナ禍前の第18回までは、あわせて1万3千人超が参加する行事になっています。

回数	日時	場所	参加者 (人)	主催
1	2002年6月1日(土)・ 6月2日(日)	東広島市	1,500	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
2	2003年6月7日(土)・ 6月8日(日)	廿日市市	3,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
3	2004年6月5日(土)・ 6月6日(日)	広島市	2,400	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
4	2005年10月15日(土)・ 10月16日(日)	三原市	5,000	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、平成17年度広島県植樹祭実行委員会
5	2006年10月22日(日) ※全国育樹祭と連携	○メイン会場：庄原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市	11,700	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、 中国新聞社
6	2007年10月20日(土)・ 10月21日(日)	○メイン会場：福山市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市	10,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、 中国新聞社

7	2008 年 10 月 18 日 (土)・ 10 月 19 日 (日)	○メイン会場：三次市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市、三原市、 庄原市、福山市	10,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社
8	2009 年 6 月 6 日 (土)・ 6 月 7 日 (日)	○メイン会場：呉市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市	7,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
9	2010 年 6 月 5 日 (土)・ 6 月 6 日 (日)	○メイン会場：北広島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市	8,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
10	2011 年 6 月 4 日 (土)・ 6 月 5 日 (日) ※第 10 回記念行事	広島市 (記念講演会) 東広島市、廿日市市、広島市 (2)、三原市、庄原市、 福山市、三次市、呉市、 北広島町	11,600	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
11	2012 年 6 月 2 日 (土)・ 6 月 3 日 (日)	○メイン会場：尾道市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町	7,000 ※朝、雨	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
12	2013 年 6 月 1 日 (土)・ 6 月 2 日 (日)	○メイン会場：安芸高田市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市	3,200 ※終日雨天	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
13	2014 年 5 月 31 日 (土)・ 6 月 1 日 (日)	○メイン会場：安芸太田町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市 (2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田	9,000	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

14	2015年6月6日(土)・ 6月7日(日)	○メイン会場：大竹市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市(2)、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町	10,540	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
15	2016年6月4日(土)・ 6月5日(日)	○メイン会場：世羅町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 尾道市、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市	7,120	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
16	2017年6月3日(土)・ 6月4日(日)	○メイン会場：大崎上島町 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、 三原市、福山市、三次市、 呉市、北広島町、尾道市、 安芸高田市、安芸太田町、 大竹市、世羅町	10,860	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
17	2018年6月3日(日)	○メイン会場：江田島市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(2)、三原市、 庄原市、福山市、三次市、呉市、 北広島町、安芸高田市、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町	11,710	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送
18	2019年6月2日(日)	○メイン会場：竹原市 ○サテライト会場：東広島市、 廿日市市、広島市(注)、 三原市、庄原市、福山市、 三次市、呉市、北広島町、 安芸太田町、大竹市、世羅町、 大崎上島町、江田島市 (注)2018年7月豪雨災害の為、 広島市森林公園会場は未開催	13,640	ひろしま「山の日」県民 の集い実行委員会、 中国新聞社、中国放送

19	2021年8月8日(日・祝日山の日)	○メイン会場：府中市 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、福山市、北広島町、竹原市	1,230	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
20	2022年6月4日(土)・6月5日(日)・6月18日(土)・6月26日(日)	○メイン会場：神石高原町 ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、庄原市、福山市、三次市、北広島町、大竹市、世羅町、府中市、	2,110	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送
21	2023年6月4日(日)	○メイン会場：安芸郡4町 (メイン会場：坂町、サブ会場：府中町、海田町、熊野町) ○サテライト会場：東広島市、廿日市市、広島市(2)、三原市、福山市、三次市、呉市、北広島町、大竹市、世羅町、神石高原町	7,510	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送

※但し、参加者は10人台で計数しています。

第 21 回ひろしま「山の日」県民の集いの記録

- 発行日 2023 年 9 月 1 日
- 発行・編集 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会
- 監修 中越 信和（広島大学 名誉教授）
- 事務局 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1 丁目 6－1
紙屋町ガレリア 303 号室
- TEL:082-258-1348 FAX:082-258-1349
e-mail:info@yamanohi.com
-



- 山の日ロゴ: 山と人との調和をモチーフにデザイン開発。
基本カラーはエコグリーン。
デザインは木原実行さん。



(この行事は、「ひろしまの森づくり県民税」を活用して開催しています。)

ひろしまの森づくりキャラクター
モーリー

